

# F125/126/127

LDホルダー  
取扱説明書

駿河精機株式会社

OST事業部

## I N D E X

### 1. はじめに

- 1. 1 主な特長 ..... P. 3
- 1. 2 ご使用いただく前に ..... P. 3
- 1. 3 安全にご使用いただくために ..... P. 4

### 2. 取り扱い方法

- 2. 1 コントローラとの接続 ..... P. 6
- 2. 2 LDの極性切替 ..... P. 7
- 2. 3 LDの取付について ..... P. 13
- 2. 4 操作について ..... P. 13
- 2. 5 トレース図 ..... P. 14

### 3. その他

- 3. 1 故障かなと思う前に ..... P. 15
- 3. 2 基本仕様 ..... P. 15
- 3. 3 保証とアフターサービス ..... P. 16

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

正しくご使用いただくため、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるように必ず保存してください。

## 1. はじめに

### 1. 1 主な特長

- ・ペルチェ素子内蔵のLDホルダーです。
- ・ペルチェ素子を使用し、校正済み10K $\Omega$ サーミスターセンサーを内蔵しています。
- ・F125はTo-Package型のLDに対応しています。
- ・F126/F127はChip Carrier型のLDに対応しています。
- ・LDのアノード、カソードの切替は、ホルダー上部カバーをはずしてジャンパーピンの変更により行うことができます。

### 1. 2 ご使用いただく前に

- ・コントローラー接続用のケーブルは付属されていません。  
ご使用になりますコントローラに合わせてご用意下さい。
- ・F126/F127を使用する場合は、LDの取付の際にM2のねじが必要です。

### 1. 3 安全にご使用いただくために

ご使用になる前に以下の注意事項を必ずお読みください。⊘マークは禁止の意味を表します。



## 注 意

ここに示された注意事項を必ずお守りください。この注意事項を守らなかった場合、けがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性があります。

#### ・配線について

LDホルダーには、LD駆動用、温度コントロール用としてコネクタが必要です。

これらのコネクタは電源投入前に接続してください。

電源投入後のコネクタの抜き差しはLD破損のおそれがありますので絶対に行わないようにしてください。

#### ・使用環境

本製品の上にもものを載せないでください。また、次のような場所でのご使用は避けてください。

- －ほこりや粉塵（特に金属粉）の多いところ
- －直射日光の当たるところ
- －火気に近いところ
- －振動のあるところ
- －水や油のかかる場所
- －傾きのある不安定な場所



#### ・管理／保管

長時間使用しない時、本製品を移動させる時には、コントローラーの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災や感電などの思わぬ事故を予防します。



## 注 意

### ・分解／改造

製品の分解・改造・不当な修理は絶対に行わないでください。

故障や感電の原因となり危険です。

異常がある場合は、当社O S T事業部営業グループまでご連絡ください。



### ・修理のご依頼を

次の場合は、ただちに電源を切り、電源プラグを抜いてください。

その後、当社O S T事業部営業グループまで修理をご依頼ください。

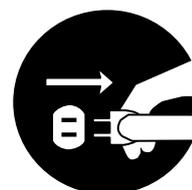
そのまま使い続けると、火災や感電、けがの原因となります。

－変な臭いがする、煙が出ているなどの異常な場合

－電源コードが傷んだ場合

－本製品に水をこぼしたり、内部に異物が入った場合

－本製品を落としたり、破損した場合



※お問い合わせ先はP. 10をご覧ください。

## 2. 取り扱い方法

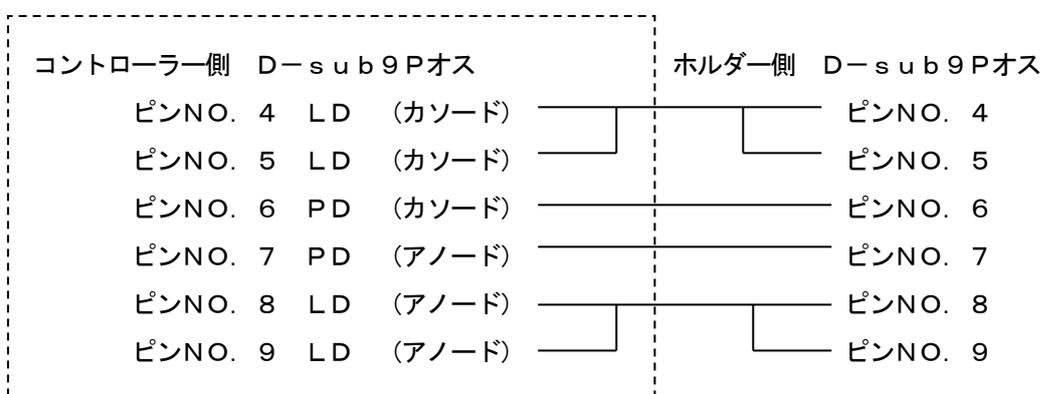
### 2. 1 コントローラーとの接続

弊社カタログ記載しております I L X L i g h t w a v e 社製コントローラーをご使用になる場合は、以下のケーブルをご使用下さい。

LD 駆動用 : VCC-305S

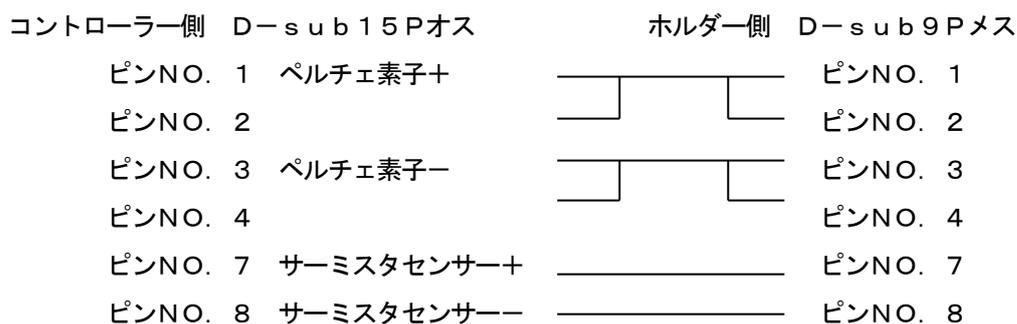
温度コントロール用 : VCC-505S

#### LD 駆動用ケーブル結線 VCC-305S



VCC-301S (破線部未加工) も用意してあります。

#### 温度コントロール用ケーブル結線 VCC-505S



他メーカーのコントローラーをご使用になる場合は、上記ケーブル配線図をご参考下さい。

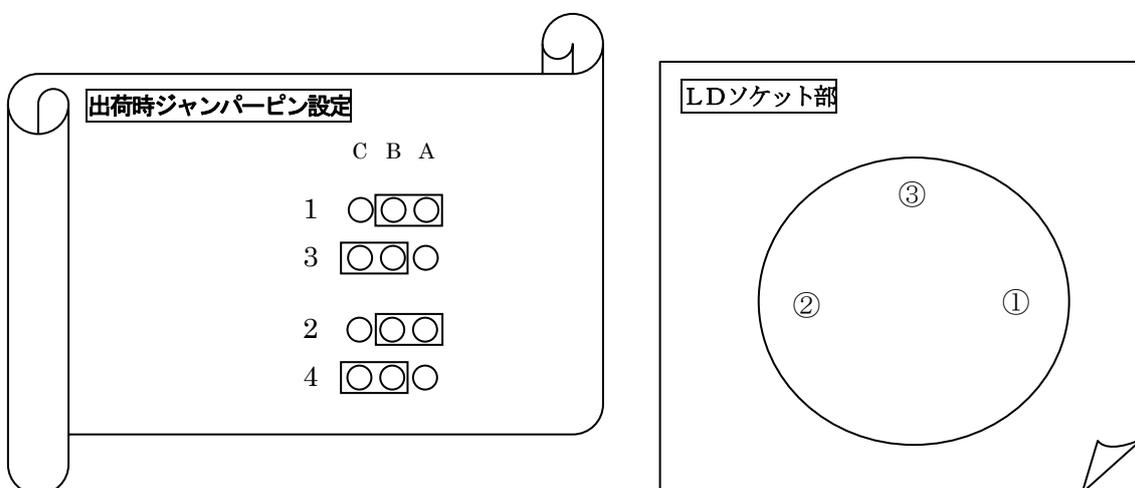
## 2. 2 LDの極性切り替えについて

LDのプラス・マイナス、コモンタイプ等による極性の切り替えはホルダー上部カバーをはずしてジャンパーピン（1～4）の変更により行うことができます。（取付けるLDのタイプにより、極性の切り替えが対応できない場合があります。）

※ 出荷時LDはカソードコモン、PDはカソードコモンとなっています。

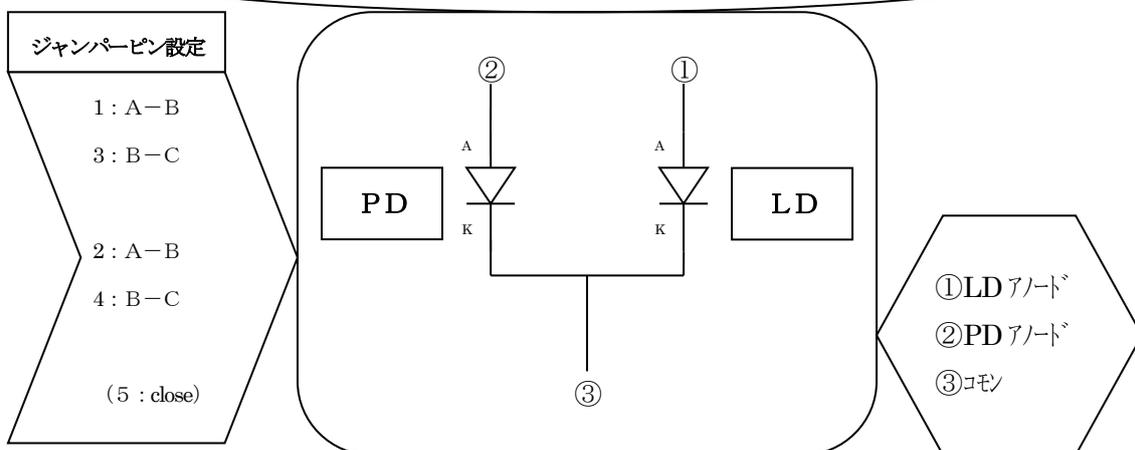
※ 出荷時ジャンパーピン5の設定は、3ピンタイプの場合close、4ピンタイプの場合openとなっています。

### F125 3ピンタイプの場合

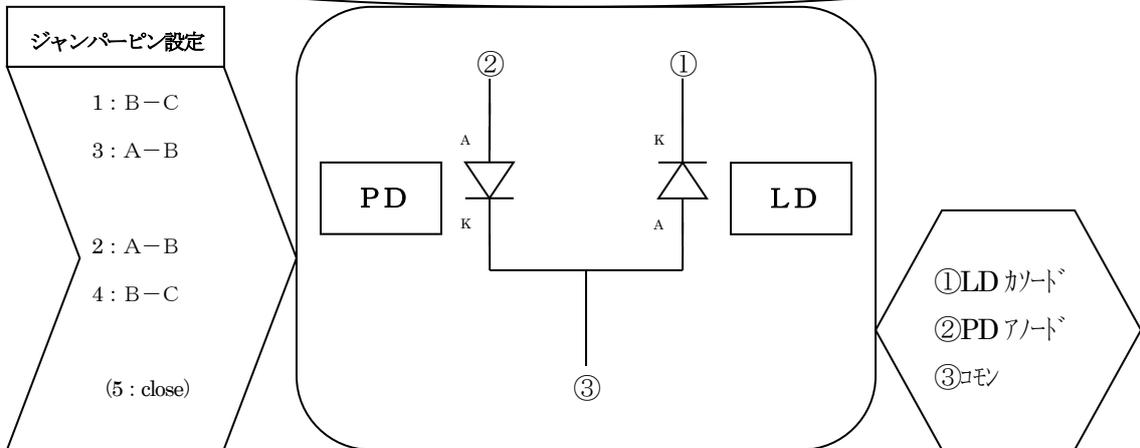


出荷時設定です

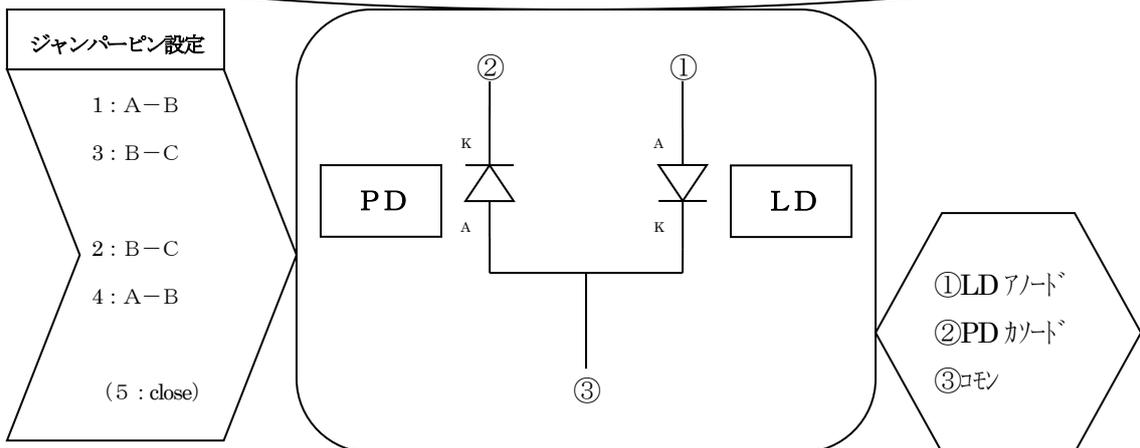
LD カードコモン・PD カードコモンを御使用される場合



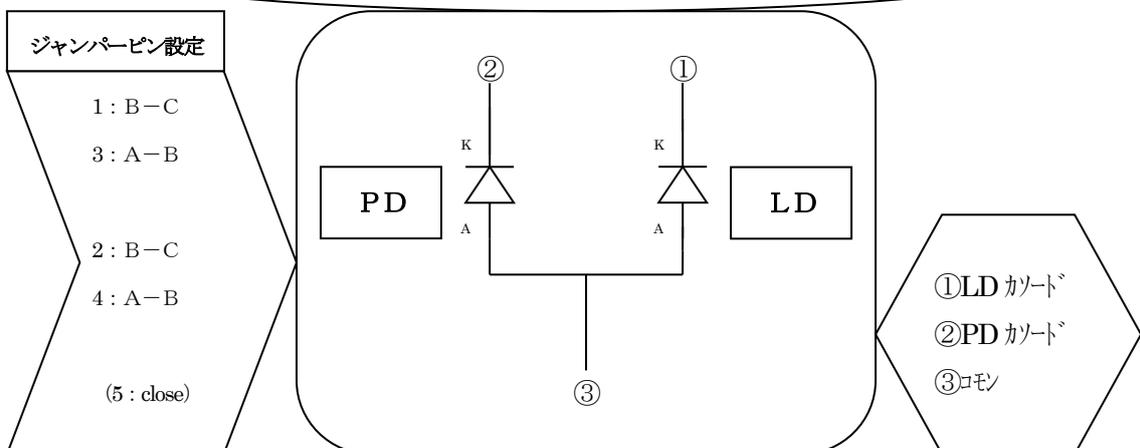
LDアノードモジュール・PDカードモジュールの素子を御使用される場合



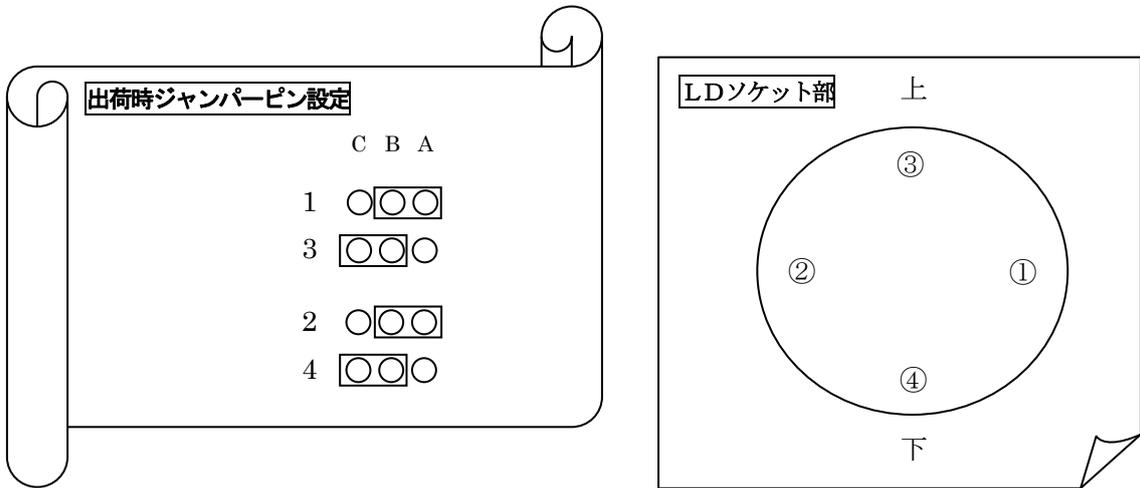
LDカソードモジュール・PDアノードモジュールの素子を御使用される場合



LDアノードモジュール・PDアノードモジュールの素子を御使用される場合

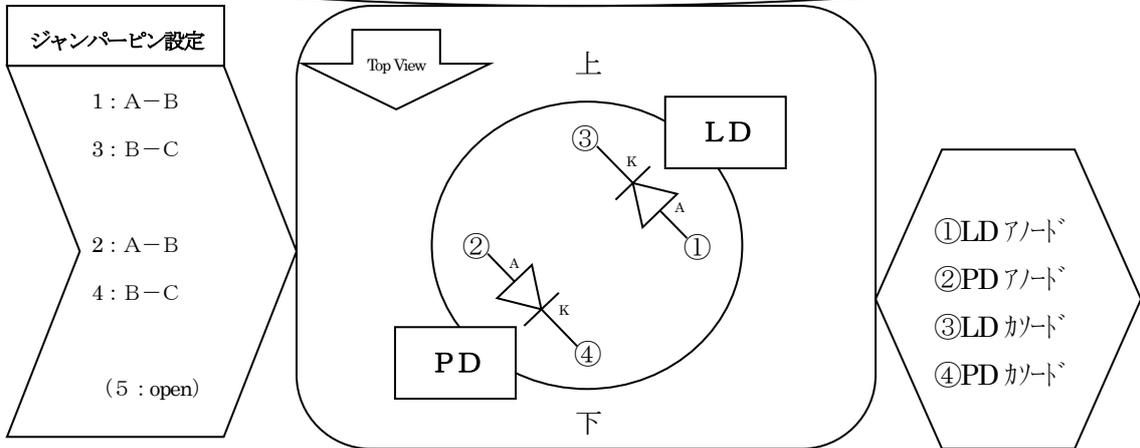


**F125 4ピンタイプの場合**

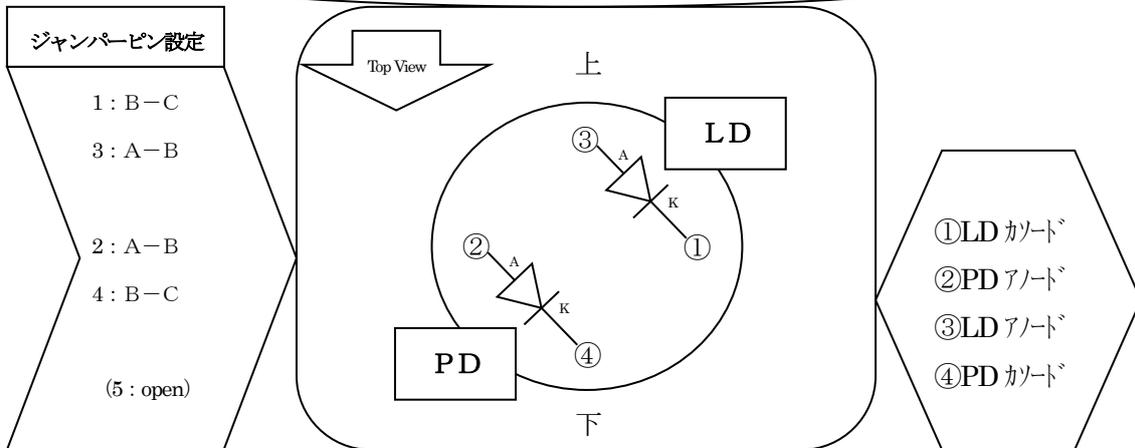


出荷時設定です

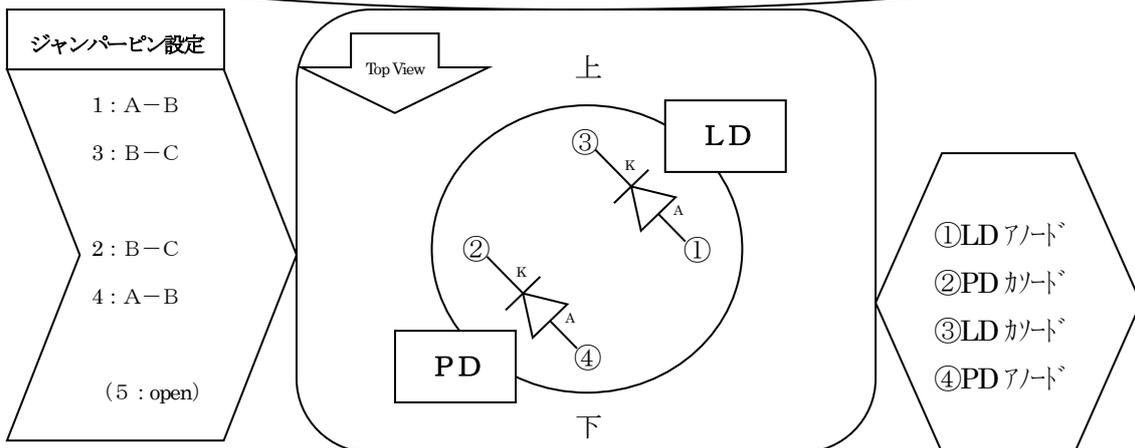
①～④が下記の素子を御使用される場合



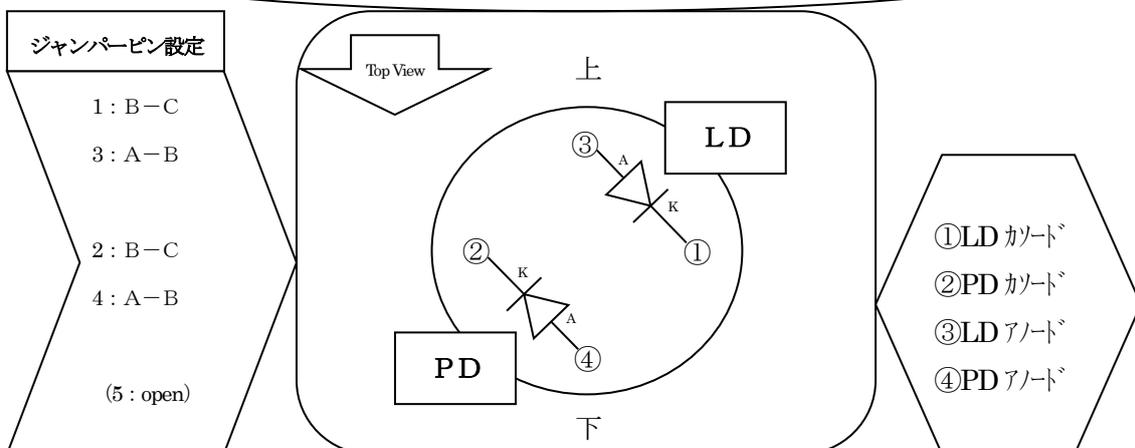
①～④が下記の素子を御使用される場合



①～④が下記の素子を御使用される場合

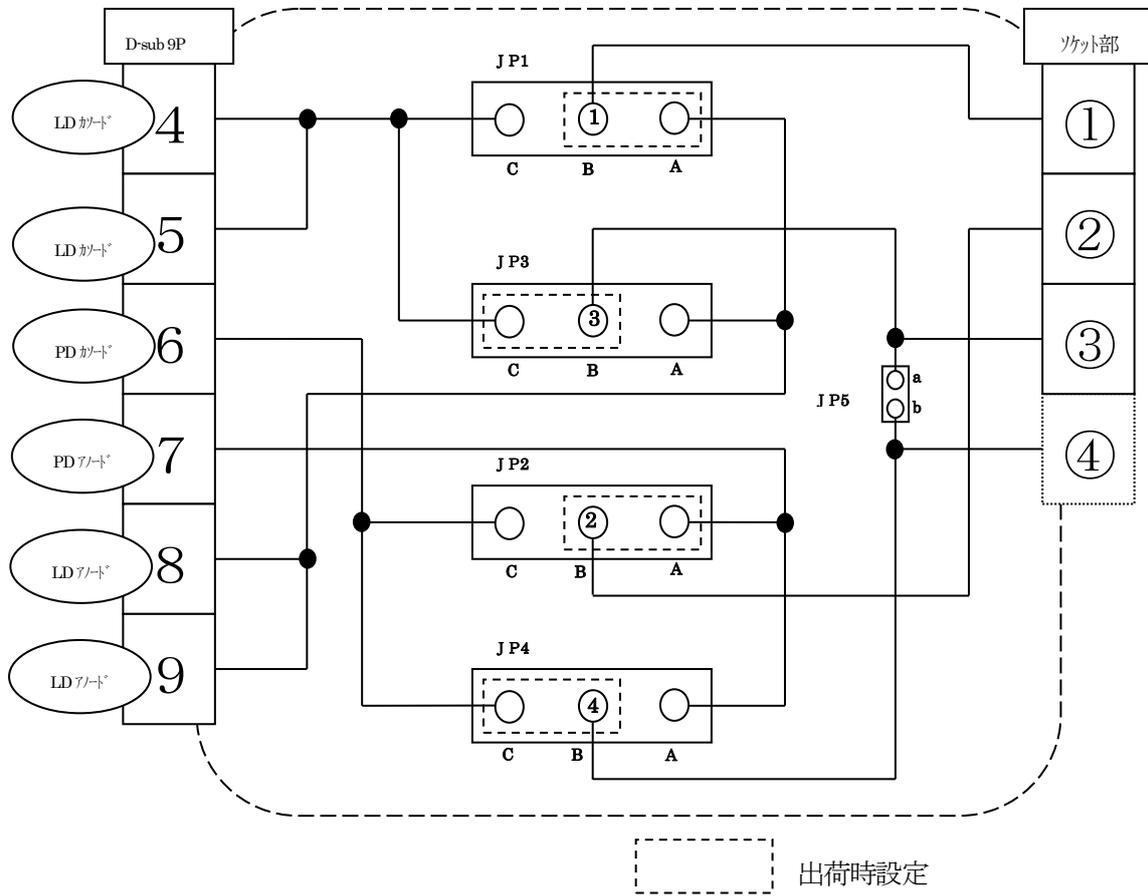


①～④が下記の素子を御使用される場合

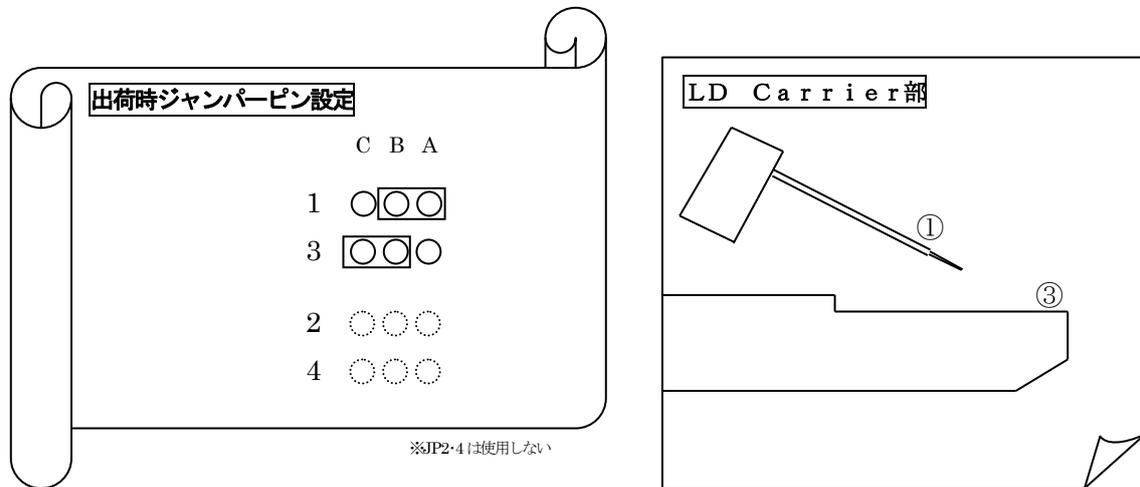


**F125 結線図**

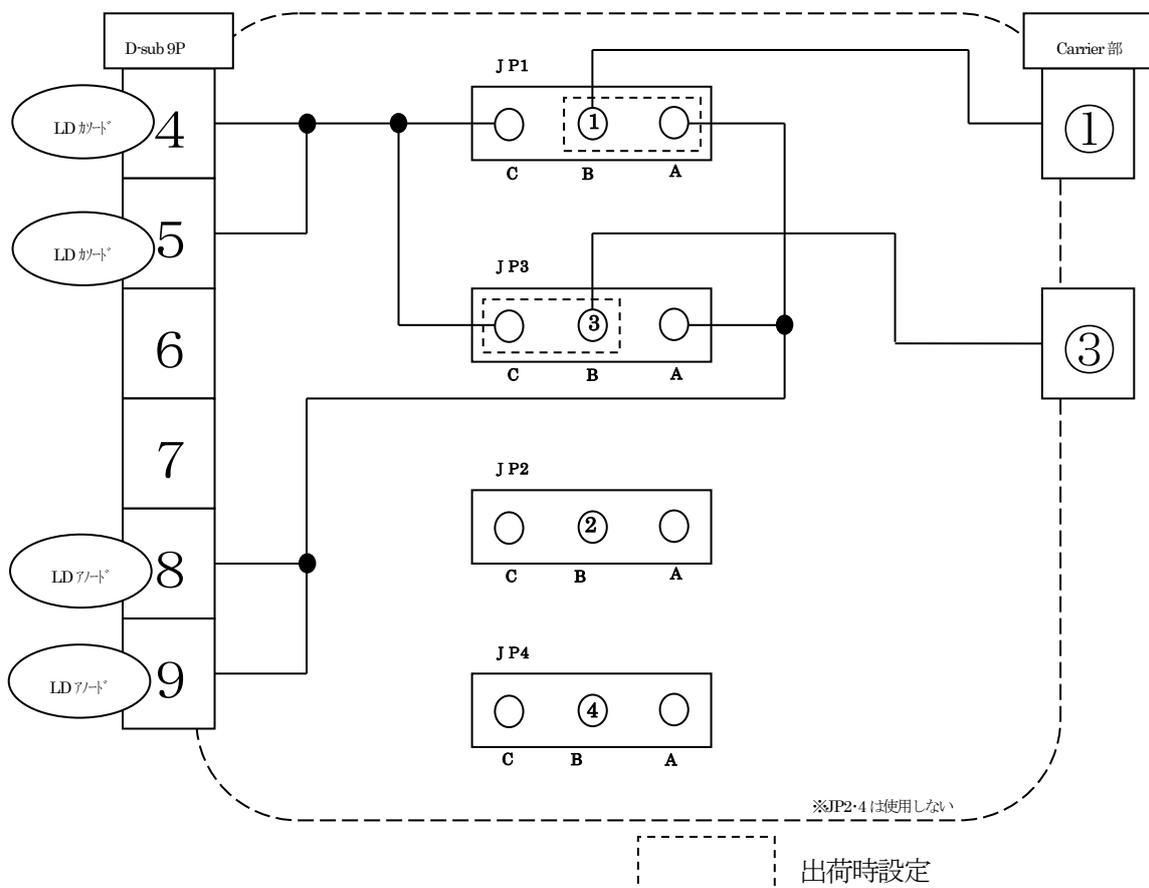
**F125**



## F126/F127の場合



## F126/F127



## 2. 3 LDの取付について

1. F125 キャンタイプのLDを取り付けることができます。

下のサイズの素子を取り付けることができます。

X：発光部外形 Y：つば部外形

	X	Y
Aタイプ	φ3.6以下	φ6.5以下
Bタイプ	φ6.5以下	φ10以下

またLDソケットは以下の4種類です。

### 3ピンタイプ

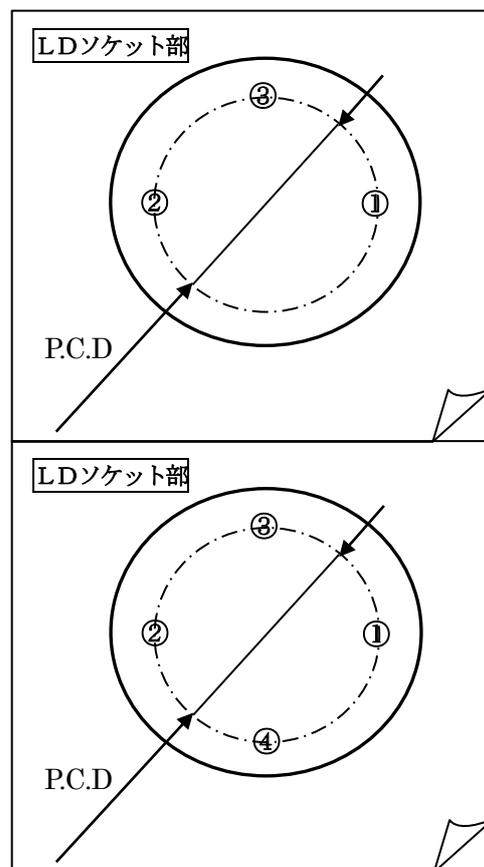
3A P. C. D. φ2.0

3B P. C. D. φ2.544

### 4ピンタイプ

4A P. C. D. φ2.0

4B P. C. D. φ2.544



2. F126 チップタイプのLDを取り付けることができます。

M2のねじでプローブの位置を変更し電極に接触させます。

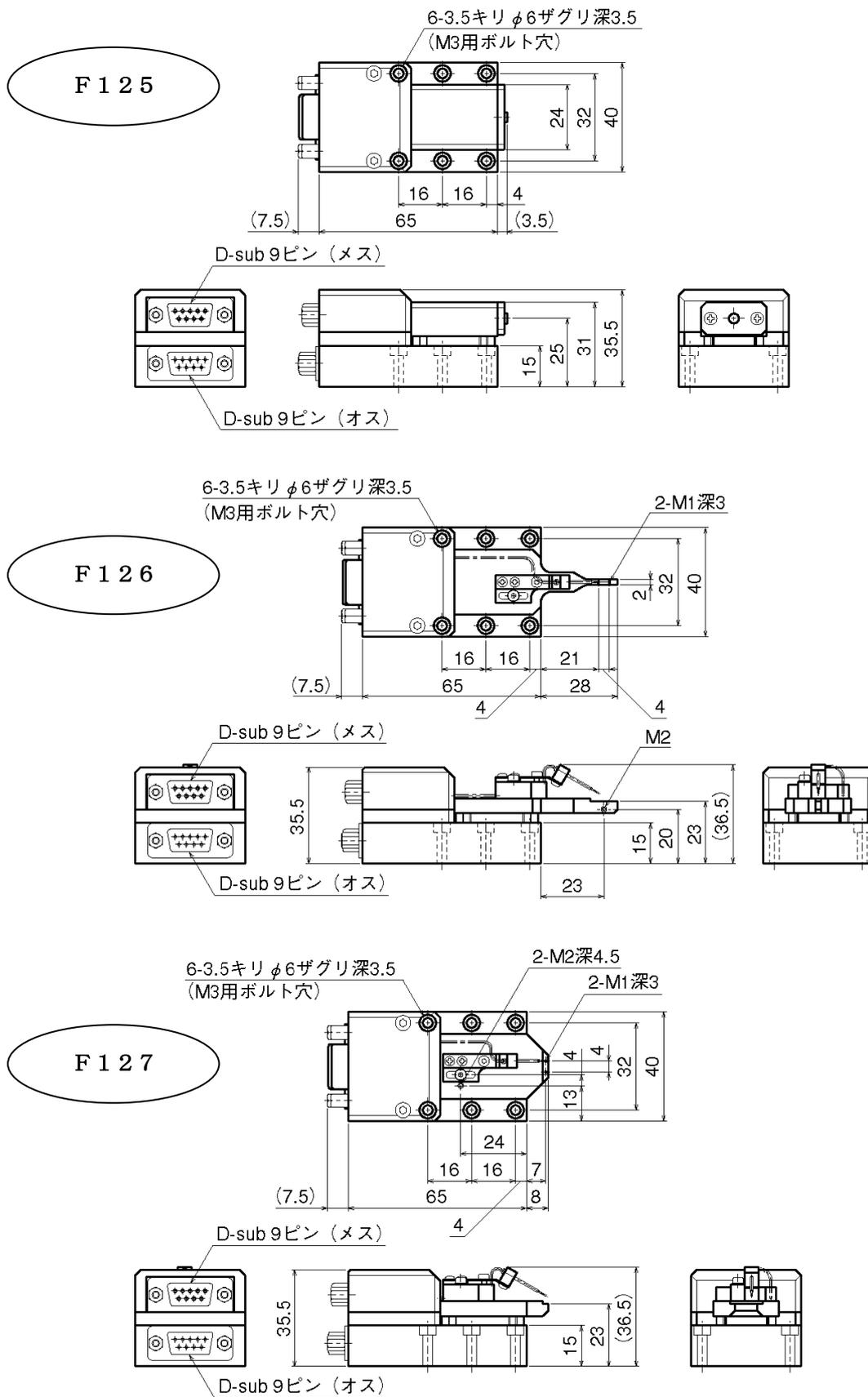
3. F127 チップタイプのLDを取り付けることができます。

M2のねじでプローブの位置を変更し電極に接触させます。

## 2. 4 操作について

ご使用になりますコントローラーの取扱説明書をご参照ください。

## 2. 5 トレース図



### 3. その他

#### 3. 1 故障かな?と思う前に

修理依頼の前に、以下の項目をチェックしてください。

症状	原因	対策	参照ページ
電源が入らない	コントローラの電源コードが抜けている	コンセントにしっかり差し込む	—
	コントローラのヒューズ切れている	ヒューズ交換	—
	配線が正しくない	配線接続の確認	—
LDが発光しない	ケーブルの接続不良	ケーブルのコネクター部の接続確認	P. 6
	極性が正しくない	ジャンパーピンの設定確認	P. 7
	LDが固定されていない	取付確認	P. 13
温度調整ができない	ケーブルの接続不良	ケーブルのコネクター部の接続確認	P. 6
	LDが固定されていない	LD取付確認	P. 13
	サーミスターの不良	サーミスターの確認	—

※ コントローラーに問題がある場合も考えられます。コントローラーの取扱説明書をご参照下さい。

#### 3. 2 基本仕様

設定温度	: 5°C~70°C (ただし、室温の場合)
温度制御制度	: ±0.1°C以下
重量	: 0.2kg
ペルチェ素子	: Qmax 15.3W、4.2V、6.0A
サーミスター	: 校正済み10KΩ
使用環境	: 0~40度 20~80%RH (非結露)

本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

### 3. 3 保証とアフターサービス

#### ●保証について

お問い合わせ時に製品の側面にマーキングされております8桁のシリアルナンバーをご連絡ください。当社でシリアルナンバーにより納入日を記録しております。保証期間は、納入後1年間です。

但し、次の場合は保証対象外となり、有償修理とさせていただきます。

- 使用上の誤り及び当社以外の者による改造、修理に起因する故障、損傷の場合
- 輸送、移動時の落下等、お取扱いが不適当なために生じた故障、損傷の場合
- 火災、塩害、ガス害、異常電圧及び地震、雷、風水害、その他の天災地変等による故障、損傷の場合
- 取扱説明書記載方法及び注意書きに反するお取扱いによって生じた故障、損傷の場合

#### ●アフターサービスについて

修理依頼の前にP. 12の項目をチェックしてください。

それでもご不明な点等ございましたら、当社O S T事業部営業グループまでお問い合わせください。

##### 《保証期間中》

取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、無償で修理いたします。上記の保証対象外の故障につきましては、有償修理とさせていただきます。

##### 《保証期間が過ぎた場合》

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

#### ●修理可能期間について

本製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後1年です。この期間を修理可能期間とします。なお、部品の保有期間を過ぎた後でも修理可能な場合がありますので、当社O S T事業部営業グループまでお問い合わせください。

※本製品に生じた故障に関し、当社は本保証に基づく無償修理以外の責任を負いません。

<お問い合わせ先>

**駿河精機株式会社 OST事業部 営業グループ**

<b>東京営業所</b>	〒110-0014 東京都台東区北上野 2-18-4 UCJ 上野ビル 4F	TEL 03-5806-1634	FAX 03-5806-1696
<b>関西営業所</b>	〒569-0071 大阪府高槻市城北町 1-5-25 FJYビル 4F	TEL 072-661-3500	FAX 072-661-3622
<b>本社・工場</b>	〒424-0056 静岡県静岡市清水区七ツ新屋 549-1	TEL 054-344-0332	FAX 054-346-1196

Ver. 1.2 2007. 4. 20/2008. 5. 19

OST-D3033-4